

いつまでも変わらぬ海を

野市小学校6年生 ビーチクリーン&シーカヤック体験

10月19日(水)市マリンスポーツ施設で、野市小学校6年生とその保護者約200人が、ヤ・シィパーク周辺の海岸清掃とシーカヤックの体験を行いました。

児童らは2班に分かれ、交代で清掃活動とシーカヤックに挑戦。ビーチクリーンでは、モラル向上と自然を大切にすることを学習しました。また、シーカヤック体験では初めてパドルを握る児童もいましたが、すぐに慣れておもしろそうに漕いでいる姿が印象的でした。心地よい海風を感じながら、さわやかな秋の一日を思う存分満喫しました。



川にありがとうを言う日

第5回物部川川祭り

10月23日(日)物部川河川敷で、「第5回物部川川祭り」が開催されました。祭りは、香南市子どもよさこい連合会の子どもたちによるよさこい踊りで開会。太鼓や吹奏楽の演奏、アカペラサークルの歌、こーにゃんとごめん戦隊ゴメンジャーのショー、川へのありがとうメッセージなども行われました。また、マイナフづくりやペットボトルを使った風車づくりなどの体験コーナー、シカ肉の試食や天然アユの塩焼き、にら塩焼きそば、焼き鳥などの販売も行われ、会場は多くの人で賑わっていました。



楽しく交通安全啓発

第5回香南市交通安全替え歌カラオケ大会



ほうきとしゃもじを使った三味線と紙吹雪で会場は爆笑の渦

9月23日(金)赤岡町の弁天座で「第5回香南市交通安全替え歌カラオケ大会」が開催され、交通安全関係団体ほか14組82人が参加しました。

この行事は、交通安全に関連づけた替え歌を歌うもので、井上陽水さんのヒット曲「少年時代」のメロディーで「交通安全時代」など、交通マナー向上を図るために知恵を絞って考えた歌詞を熱唱。笑えるものから訴えかけるものなど、ユーモアたっぷりの歌とプロ顔負けの演出に、約150人の観客から惜しみない拍手と歓声が送られました。

澄んだ秋空のもと収穫の喜び～

吉川みどり保育所 サツマイモ掘り



10月18日(火)野市町東野の畑で、吉川みどり保育所の3～5歳児24人がイモ掘りを体験しました。市シルバー人材センターの会員の方が耕作放棄地を活用して育てたサツマイモを、上手にスコップや手で土を掘り起こし、大きなイモを手で「せんせい、みてー」と自慢げな様子。途中、ミミズやウシガエルなどが出てきておおはしゃぎする場面も。収穫後は、焼きイモなどにして秋の味覚を楽しみました。

園児たちの手助けをした会員は「子どもたちの笑顔を見ると、世話をしてきた甲斐がありました」と目を細めました。

頑張ってます!

香南市の状態は、少しずつ健康になっているよ。借金の返済をできるだけ前倒しすることで、より健康な状態を目指しているんだよ。しかし、まだまだ油断できる状態ではないんだよ。その理由は、H28年度以降は、国からの仕送りが大きく減らされることから、計画的な財政運営に努め、今のうちに体力を蓄えておく必要があるんだよ。



早期健全化基準はすべてクリア

自治体の財政破たんを未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して健全化を促すことを目的とした「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」(財政健全化法)が平成21年4月から本格施行されました。この法律により、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や外郭団体を含めた実質的な将来負担等に係る指標(「健全化判断比率」と、公営企業ごとの資金不足率(「資金不足比率」)について監査委員が審査を行い、その意見を付して議会に報告し、かつ公表することが義務付けられています。

市の22年度の健全化判断比率・資金不足比率は右のとおりです。いずれも早期健全化基準を下回っていますが、厳しい財政状況を踏まえ、引き続き効率的な財政運営に努め、今後も行財政改革を推進していきます。

健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率	香南市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 一般会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	-	13.08%	20%
連結実質赤字比率 すべての会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	-	18.08%	35%
実質公債費比率 借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率	18.4% (▲7.5%)	25.0%	35%
将来負担比率 市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率	45.7% (▲36.1%)	350.0%	

()は前年度比

地方公営企業の経営の健全性に関する指標

資金不足比率	香南市	早期健全化基準	財政再生基準
資金不足比率 企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度をみる比率	-	20.0%	

※「-」は赤字が生じていない(該当なし)ことを表示
※実質公債費比率が18%を超えると、借金借入に県知事の許可が必要になります。
※実質公債費比率が25%を超えると、単独事業の借金借入が制限され、市独自の事業は、ほとんどできなくなります

22年度決算意見書等を
監査委員から市長へ提出

さらなる歳入確保、歳出削減の努力を!

財政状況は、21年度と比較すると、数字上はわずかながら改善傾向にあります。しかしながら、実質公債費比率は前年度より低下し、早期健全化基準を下回っているものの、地方債の発行に際し許可が必要となる基準を上回っています。より一層の歳入確保、歳出削減に努めてください。

また、民間企業の不良債権にあたる滞納金の徴収事務に関しては、各担当課・担当係間に滞納整理の意識のばらつきが生じないよう組織が丸となって、自主財源確保のため徴収効率のアップに向けた取り組みをお願いします。



▲監査委員から意見書を受け取る市長

また、この仕事を
したいです。



職 場体験にこちらを選んだのは母が広報の編集委員で、いろいろな所に取材に行ったり、記事を書いたりしているのを見て面白そうだったからです。特集の決算では、教育委員会を取り上げ、僕たち児童、生徒にどのくらいお金がかかっているのかを調べました。その結果、全体で180億円のうち20億円が教育費に使われているのが分かりました。20億円という膨大な金額がピンとこない桁ですが、これを180万円のうちの20万円と考えると意外と少ないなあと思いました。また、財政の話聞いて、昨年度の香南市の繰越金が約8億円あるそうです。それを聞いてびっくりしました。そんなにあるがやったら1億円くらい学校教育にもう少し分けてもらえんのかなあと思いました。けれどその他にも市民の皆さんが暮らしていくためには、多くのお金が必要なので、そう簡単にいきそうにありません。

今回たくさんの方々にお世話になり色々勉強になりました。ここで学んだことで、学校で活かせるものがあると思うのでしっかり頑張りたいと思います。2日間という短い期間でしたが楽しかったです。ありがとうございました。

